

BELIZE

MAP
CLICK!

ベリーズのブルーホールを潜る

Photo & Text : Kentaro Hosoda

中南米のカリブ海に面する国ベリーズ、「ブルーホール」に潜り、
地球のスケールを体感した。

驚き Surprise



BELIZE

ベリーズ



ブルーホールに潜る

「なんて綺麗なブルーなんだろう」。空からブルーホールを見たとき思わずつぶやいた。リーフ内のブルーのグラデーションも綺麗だが、それ以上にブルーホールのひととき濃いブルーに強烈な印象を受けた。地球って本当に美しいと実感した瞬間だ。

ブルーホールのダイビングの一番の見どころは、穴の側壁にある鍾乳洞だ。水深30mくらいまで降りて行くと鍾乳洞が見えてくる。内部は水深35~40mとかなり深い。この鍾乳洞は、はるか昔、陸上で長い年月をかけてできたものが、海面の上昇により水中に沈んだと考えられている。天井からは大きな鍾乳石が何本も吊り下がっていて、まるでオブジェのような景観を醸し出している。神秘的な光景に心を奪われた。

ブルーホールは直径が約 300m、深さは 120m とスケールの大きな穴だ。そのためボートのデッキからでは全容が掴みにくい。言われなければ普通のリーフと勘違いするだろう。ここではダイビングと、空からの眺めの両方を体験することをお勧めしたい。セスナからの遊覧飛行は世界遺産のバリアリーフを横断し、海の中にぽっかりと空いた「ブルーホール」を眺めるコース。飛行中は刻々と色を変えるカリビアンブルーに目を奪われる。きっと地球のスケールを感じるような体験となるだろう。



tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく船



ジンベエザメは春にやってくる

ベリーズには毎年3～6月頃、ジンベエが現れる。この時期、リーフ沿いに何万匹というスナッパーが集まり、満月の前後に一斉に産卵を行う。ジンベエはこの卵を捕食しに集まってくるのだ。この海のジンベエダイブが素晴らしいのは透明度がいいところ。ジンベエが高確率で見られるスポットは世界各地にあるが、透明度があまりよくないケースが比較的多い。ジンベエは主にプランクトンを食べに集まってくることが多いので仕方がないのだが、透明度はいいにこしたことはない。スナッパーの産卵で多少透明度が落ちることはあるが、それでも常に透明度20～30mくらいのクリアな水が広がっている。ベリーズでジンベエと泳ぐのは最高に気持ちいい。現地のガイドに尋ねたところ、満月の前後10日間であればジンベエ遭遇率は100%に近いとのこと。

O 海 cean

BELIZE

ベリーズ

世界遺産の海ベリーズ

ベリーズは中南米のカリブ海に面する小さな国で、面積は日本の四国ほどの大きさだ。ベリーズのバリアリーフは、オーストラリアのグレートバリアリーフに次ぐ世界第2位の規模を誇り、世界自然遺産に登録されている。サンベドロやキーカー、プラセンシアといったダイビングスポットは、このリーフ内に点在している。どこも透明度はよく20〜30mくらいで、抜けの良い水が気持ちいい。ドロップオフの壁にはハード&ソフトコーラル、イソバナ等、手付かずの自然が広がっている。また、ターボンを始めとする大西洋の固有種が見られる。普段あまり馴染みがない魚たちがいる海は、フィッシュウォッチング好きなダイバーにはたまらないだろう。

tsumi-shima
ダイバーの夢をつみあげていく



密林に眠るマヤの古代遺跡

ベリーズでのダイビングを終えた後、隣国のグアテマラまで足を伸ばしてみた。ローカルバスを乗継ぎ国境を超えて約7時間、ようやく到着したのがティカルの遺跡だ。ここはマヤ文明の古代遺跡が残る場所で、巨大な神殿を間近に見ることができる。暑さで蒸し蒸しするジャングルを進んでいくと、鳥の鳴き声や何か動物が叫ぶような声が聞こえる。やがて石造りの神殿が見えてきた。神殿は巨大でジャングルを突き抜けて天に向かって聳えるように建っていた。マヤ文明は2,500年前に栄えたと考えられている。マヤの人々はいなくなりましたが、神殿は時を超えて残っている。一部の神殿はジャングルに覆われて森に飲み込まれそうになっていた。遺跡の急な階段を登ると、ジャングルを貫く神殿がいくつも建っているのが分かる。階段に座って遺跡を眺めつつ、マヤの人々についてしばし思いを巡らせていた。

豊かな自然を たっぷり味わえる国

ベリーズは1981年に独立した米大陸で最も新しい国。中央アメリカのユカタン半島南部に位置し、北はメキシコ、南と西はグアテマラに接し、東はカリブ海に面している。公用語は中米で唯一の英語。気候は亜熱帯性気候で年間を通して暖かい。海はベリーズバリアリーフ全体が世界遺産に指定されており、サンゴ礁の長さはオーストラリアのバリアリーフについて世界第2位を誇る。世界最大級の直径約300mのブルーホールはその中にある。陸ではアルトゥンハヤラマナイ、シュナントニッチなど紀元前からのマヤ遺跡が多く残っており、実際に遺跡に登ることも可能だ。バードウォッチングやクロコダイル、野生ザルなどの観察もできる。中南米ではもっとも奥深い洞窟見学システムが発達しており、洞窟内の川をチューブによって流れるケーブチュービングが楽しめる。ベリーズは国土の大部分がジャングルに覆われ、海は広大なサンゴ礁が続いている。豊かな自然を感じたいと思う人に是非訪れてもらいたい国である。



Information

●国名:ベリーズ ●ビザ:30日までの旅行目的の滞在は不要。 ●パスポート:パスポートは、有効残存期間6ヶ月以上が必要。 ●言語:英語。スペイン語もかなり通じる。 ●通貨:ベリーズ・ドル(BZ\$) ●時差:日本よりマイナス15時間。日本が正午の時、ベリーズは前日の午後9時。 ●電圧:110v/60Hz。プラグは日本と同じAタイプ。 ●水:ミネラルウォーターの飲用を。 ●アクセス:日本からベリーズへの直行便は就航していないので、アメリカを経由してベリーズへアクセスするのが一般的。乗り継ぎの待ち時間を含めて16~20時間程度。